

令和3年度小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

| | | | | | |
|------|------------------|-----|-------|-------------------|---|
| 法人名 | 社会福祉法人 網走福祉協会 | 代表者 | 古賀 敏朗 | 法人・ 事業所の 特徴 | 網走市向陽ヶ丘の住宅街にサテライト型の地域密着型介護老人福祉施設並びに小規模多機能居宅介護支援事業所を開設運営し、網走市の高齢者福祉、介護の推進、充実に貢献する事を目的とし、平成21年4月にオープンしました。ユニット個室であり、入所定員18名(9名1ユニット×2) 小規模多機能登録定員、15名(通い定員：最大9名、泊り利用定員5名) 「地域密着」とはお年寄りがこれまで過ごしてきた地域での生活、人間関係が継続できること。「小規模」とは、お互いになじみの関係がもてる居場所であること。「多機能」とは、「通って居泊まれて居自宅に来てくれて居将来的に住む」ことが出来ることが有機的につながっている事を指します。 介護の内容は、日常生活全般の介護看護、地域・社会活動への参加、ご家族への支援です。 介護の目標は、一人一人に向き合い、気晴らしに寄り添い、1日の生活がスムーズに流れるように支援することです。家族や地域とのつながりが切れないよう支援し、誰でも立ち寄って頂ける施設環境を作っていきたいと考えています。 |
| 事業所名 | 向陽ヶ丘レインボーハイソ | 管理者 | 田宮 匡史 | | |

| 出席者 | 市町村職員 | 知見を有するもの | 地域住民・地域団体 | 利用者 | 利用者家族 | 地域包括支援センター | 近隣事業所 | 事業所職員 | その他 (網走市社協) | 合計 |
|-----|-------|----------|-----------|-----|-------|------------|-------|-------|----------------|----|
| | 1人 | 人 | 2人 | 人 | 1人 | 1人 | 人 | 3人 | 1人 | 9人 |

| 項目 | 前回の改善計画 | 前回の改善計画に対する取組み・結果 | 意見 | 今回の改善計画 |
|-------------------------|---|---|----|--|
| A. 事業所自己評価の確認 | ・引き続き、事業所全体で評価の実施に努めていく。 | ・職員個々が考え、自己評価を実施した。 ・新型コロナウイルス流行の為、充分に改善ができなかった点が多くあった。 | | ・今後も継続して、職員個々が考え、自己評価を実施する。 ・新型コロナウイルス感染予防を万全に行った上で、出来ることを増やしていく。 |
| B. 事業所のしつらえ・環境 | ・環境面に関して、今後も家庭的な雰囲気や季節を感じられる施設での取組みを継続して行う。 | ・季節毎にフロアの装飾を変える等、季節感を出せるよう取り組んだ。 ・家庭的な雰囲気を大切にしながら、新型コロナウイルス感染対策として、食堂やリビングにアクリル板を設置し、人が密集しないスペース作りを行った。 | | ・環境面に関して、今後も家庭的な雰囲気や季節を感じられる施設での取組みを継続して行う。 ・新型コロナウイルス感染予防を万全に行った環境づくりをする。 |
| C. 事業所と地域のかかわり | ・広報誌の作成や配布、掲示に取り組み、地域への情報発信を継続して行う。施設の取組みや特徴を知ってもらえるよう努める。 ・会議や生活支援体制整備事業等を通じ、地域との連携や繋がりを深められるよう取り組んでいく。 | ・広報誌の作成・配布は職員の異動や人員不足などがあり、今年度は実施できなかった。 ・新型コロナウイルス流行の為、地域との関わりを持つことは、ほとんどできなかった。しかし、感染対策を行った上で、向陽地区課題解決協議会等には参加できた。 | | ・広報誌について、作成する職員の人員確保やスキルがあれば、再度発行を検討する。 ・継続して新型コロナウイルス感染予防を行いながら、地域の会議や行事に参加し、交流を図る。 |
| D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み | ・、『にじ色だより』(地域向け広報誌)や『にじのかけはし』(家族向け広報誌)の作成、配布、掲示を継続して行い、地域の方や家族に施設の取組みや地域参加などについても知ってもらえるよう努める。 | ・広報誌の作成・配布は職員の異動や人員不足などがあり、今年度は実施できなかった。 ・新型コロナウイルス流行の為、外出を伴う行事や、地域の方や家族も参加しての行事等は実施できない状況だった。 | | ・広報誌について、作成する職員の人員確保やスキルがあれば、再度発行を検討する。また、家族に手紙や写真を送り、入所者の日常の様子をお知らせする取り組みを行いたい。 ・新型コロナウイルス感染予防を行った上で、家族や地域ぐるみの行事を少しずつ再開する。 |
| E. 運営推進会議を活かした取組み | ・運営推進会議に参加していただけるよう、地域の方や家族へ案内し、継続して呼びかけを行う。 ・会議においては、施設からの実績等の報告だけでなく、参加者全員での情報交換や情報共有ができるよう取り組む。 | ・令和3年度は、新型コロナウイルス感染防止の為、書面での開催となった。 | | ・新型コロナウイルス感染予防を行いながら、市等と協議し、運営推進会議の参加方法について検討する。 ・地域の方や家族へ会議の案内をし、参加の呼びかけを行う。会議については、施設の利用実績や報告にとどまらず、参加者全体での情報交換や共有を図る。 |
| F. 事業所の防災・災害対策 | ・地域の方にも施設の夜間想定防災訓練の実施について案内を送付し、参加していただけるよう取り組む。 | ・令和3年度は、防災訓練を2回実施している。(いずれも夜間想定。かつ、うち1回は災害想定) | | ・今後も年2回の防災訓練を行い、地域の方にも参加していただけるよう取り組む。 |